

三池に学ぶ婦人集会開く

幼な児かかえて参加

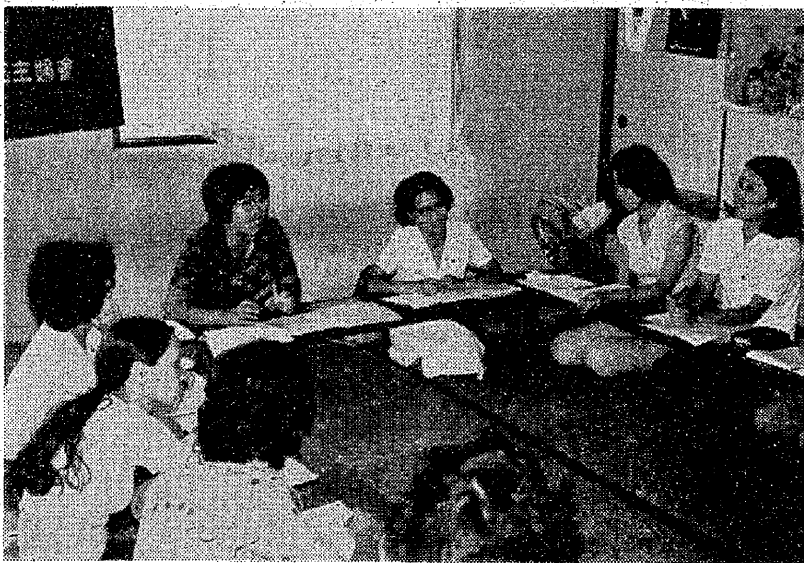
北から南から百人の主婦

八月二十四、二十五の三日間の日程で、第二回三池に学ぶ婦人集会が、三池の各地域での交流を深めながら行われた。

三池の闘いが、常に家族ぐるみで闘われ、良人の職場での差別による低賃金にも、主婦は内職で働き、三池大爆発による遺族と患者、その家族の苦しい闘いにも参加し、オルグにも出かけ、抗議行動に出かけ、先進的に闘ってきた。

その、三池主婦会の運動と組織づくりを学ぼうと、今年は今国、北は北海道から、南は鹿児島までの二十九道府県から、百一人(子供十四人)の参加者が集まった。

みいけには、主婦の立場でありながら、しかも幼児をかかえ、困難な条件をのりこえ、克服して参加することが、運動の第一歩であるとする姿勢がありありと見られ、頭のさがる思いがした。



すつかりうちとけ、分散会での交流

組合員の各家庭にとまじりこみの無、悪性インフレーションによる生活破壊。人間として生きることさえ拒否されるいまの世の中を、一日で党が、資本と一体となり、狂乱物も早く、労働者が主人公になるまで

で頑張ることをめざし、交流を行って人間関係こそが、主婦を生き生きとさせ、正しく未来を見つめるわが三池闘いはあつたが、多くのことを学び取るうこの態度は余りにも真剣だった。

三池では、良人と妻、子どもと親の、三池の闘いはあくまで正し、自衛闘争をせよとあつた。この信念を軸につくれば、姿が強く印象に残った。

みいけは

たたかひの

ふるさと

高 椋 竜 生

みいけでは きょうも
にんげんを まもる
たたかひが
じいちゃん はあちゃんから
とろちゃん かあちゃんへ
家族ぐるみで たたかひ
つがれる

みいけには きょうも
暗さがなごう
そこをけの明きがあるとう
みいけで
おちくのなみだ と 血が流
れた

たたかひの ふるさとという
スクラムを組む なかまたちが
きょうも
みいけへ やってくる
みいけは

【連合】

短歌 土呂久 鋳害

遺族 永江 美由紀

山深き十人八のやまをたづねて被害の深き思いつらくて
視力なく身の不自由を耐えぬいて闘う人よからなうとよ
そはくくなる人をたまたましてかとうきた住友金属企業を憎し
鋳石なげきや長寿の里ならむ企業罪悪憎むても余りあり



現在、福岡市役所に勤務して居る。また、福岡市役所に勤務して居る。また、福岡市役所に勤務して居る。

子供の成長

本所 平川 富江

学生時代、子どもは時々口癖のように、「自分が社会に出て働くようになったら、一番

やってみたいことは、職場でスラム組んで「頭張ろう」の歌をうたう気持ちで早くあじまてみたい」と、うなづいて居たことを思い出します。子ども心ながら、あの苦しかった三池闘争のことを思い浮かべていたのではないかと思っています。

集会に参加しましたが、子どももこの以上おぼけいな出費は出さなうという気持ちがあつたこと、また、一歩成長したことも事実でした。

見てきたソ連邦

やがて世界第一の国

書記次長 蒲池 哲夫



蒲池次長、ソ連炭労幹部とともに。

り、公園となっている。大きな人工の池にはボートが浮かび、釣りもできる。別棟に療養設備があり、電気治療のさまざまな設備、水マッサー、薬草を泥のようにとかしたフロで治療する設備、プール、サウナフロなど、至れり尽せり。

医師も居り、健康管理と保養が同時にできる。生活費は、ここでは食費だけの分くらい。一カ月一万円ほど。これが病氣治療をする人の分、保養をする人ではこの約三倍ほどである。

ヤルタ地区にも、ドンバス地区炭鉱労働者の保養所があり、六千名くらゐ収容できるホテル同様の宿泊施設、千二百名が同時に食べるのできる広い食堂。子ども連れの人たちのための食堂。子ども連れの人たちのための食堂。子ども連れの人たちのための食堂。

「レーニン」の思想は世界を動かす」と、作家マヨフスキーはいつているが、ソ連邦の経済政策、豊富な資源、子どもや国民を大切に育てる国造りから見て、同国が必ずや世界第一の国となることは疑えない。

私はいま改めて、反独占の旗印を高く掲げ、職場における闘いを基軸に、社会主義社会の実現をめざし、さらに前進しなければならぬ、との決意を深くしている。

(終り)

トルにわたる建物があり、このなかにシャワー室、更衣室、飯膳所、医師室、コピー店、売店などがあり、遊ぶところについても十分と云うた施設がある。

鉄鋼、化学など労働者や農民、その他さまざまな労働者の施設や病院がある。

これらの保養所・療養所では、現在さらに巨大な拡張建設工事が進められていた。

以上炭鉱を中心に、見てきた施設について述べてきたが、現実の姿は文章では表現できないいきいきとしたものであった。そのほか堂々とした大通り。大きなアパート。緑の街並み。そこかしこ、必ずといってよいほど、レーニン像が立っている。人々の生活を見守っている。ソ連の国家建設に力がある。有名無名の人の立像も。その前には、少くも花輪が掛けられていたが。

人々の表情も明るく、またたく知らない人でも、十年來の友人と話す愛國情もまた、社会主義建設という事業をなす同一の目標をもった人間の間にだけある。

「レーニン」の思想は世界を動かす」と、作家マヨフスキーはいつているが、ソ連邦の経済政策、豊富な資源、子どもや国民を大切に育てる国造りから見て、同国が必ずや世界第一の国となることは疑えない。